

# 高総体では 己と仲間を信じて



△生徒会が作成した「モチベーションアップ動画」を観賞する選手の皆さん  
▷高総体の競技結果は県高等学校体育連盟のホームページから確認できます。



5月20日、第76回岩手県高等学校総合体育大会（5月23日～6月2日開催）に出場する7つの運動部を激励する壮行式が行われました。

壮行式で生徒会長の丸山晃奈さんは「選手の皆さんはこれまで努力を惜しまず練習を重ねてきたと思います。一生の思い出となる素晴らしい大会になるよう頑張ってください」とあいさつし、和田健利校長が「どんな相手であっても無心で立ち向かい、己と仲間を信じて最後まで力を出し切ってほしい」と激励しました。

各運動部の生徒はユニフォーム姿でステージに登壇し、大会当日に向けての意気込みを力強く話しました。

壮行式の最後には生徒会が作成した「モチベーションアップ動画」が上映され、各運動部の練習風景や大会の様子が収められた写真が曲に合わせて映し出されると、選手たちはさらに闘志を燃やしている様子でした。



女子バスケットボール部



男子バスケットボール部



サッカー部



剣道部



ソフトテニス部



バレーボール部



卓球部（女子）



卓球部（男子）



陸上競技部

## 選択可能な制服の導入へ



新たな制服に笑顔の1年生

葛巻高校では令和6年度から多様性を重視した制服が導入され、スラックスまたはスカート、ネクタイまたはリボンなど自由に選択できるようになりました。

生徒間での議論に加えて、PTAや同窓会、教育委員会にも理解を求め、ネクタイやリボンなども自由に選択できる改定内容になりました。

家族などからの反応は？  
谷地さん▼祖母には最初「普通はスカートにリボンじゃないの」とびっくりされましたが、「似合っているし、前よりも笑顔」と言われました。大上さん▼「自分の好きなものを選んで良かったね」と言ってもらえました。

新たな制服を着用した1年生を見ての感想は？  
丸山さん▼入学式で見たときうれしかったし、もっと広まって、これが当たり前になればいいなと思いました。四作さん▼自分も選んでいたかもしれないと考え、選択肢があるっていいなと思いました。



葛巻の目指す将来像は？  
丸山さん▼その時代の生徒がその時代に合った、自分たちが良いと思うものを自分たちらしく良い方向に考えていくことができればいいなと思います。

選択可能な制服の導入に至るまでの道のりを生徒会長の丸山晃奈さん（3年）と副会長の四作美結さん（3年）に伺いました。  
■導入の経緯は？  
丸山さん▼令和3年度の生徒総会で「ジェンダーレス時代を迎えている今、本校でも取り組むべき」という提案が出されたのがきっかけで、議論を重ねてきました。  
令和4年度には生徒会で近隣の学校の情報収集をしたり、試作品を作ってもらったり検討を続けてきました。

継続して選択が可能となった制服を着用している谷地樺林さん（1年）と大上夢さん（1年）にお話を伺いました。  
■制服が選択できると知ってどう思った？  
谷地さん▼率直にうれしかったです。実際にスラックスをはいてみると、すごくはきやすいです。  
大上さん▼着替えも楽。スカートよりもしわがつかなくて、選んで良かったと思いました。

3年間の集大成  
春を迎え、数々の新しい出会いや体験に慌ただしい日々を送っています。皆さんはいかがお過ごしでしょうか？  
私の所属する卓球部は、新入部員を9人迎え、計21人の大所帯で活動しています。県高総体に出場するため、男女や学年の垣根を越え、お互いにアドバイスし合いながら、毎日少しずつ成長してきました。私は3年生なので、人生で最後だと思う緊張と練習から生まれる自信で不思議な気持ちになっていました。  
そして先日、高総体地区予選に参加してきました。結果はそれぞれ明暗が分かれましたが、全員で県大会に向かうことができるので安堵しています。



高総体地区予選での熱い戦い

3年間で、素敵な先輩方やかわいい後輩たち、頼りになる同級生、他校のライバルたちに出会い、充実した日々を送ってきました。大好きな人たちに会わせてくれた部分は私の3年間の財産だと感じています。少しでも長く部活を続けられるように、これから県高総体に向けて、さらにレベルアップしていきたいです！

高校生記者レポート  
丸山晃奈（3年）  
寒暖差が激しい日々です。皆さん、体調に気を付けて過ごしましょう！